時事新報

狂言筋書

サラーベルンハルドは久くセートル フランセイズの虚名を在りて聲名を轟かし歐洲劇園社會の巨擘として有名なる女優の一人なり女史は此頃歐洲の演劇は數十年の昔に較べ退歩の傾あるを論ぜず其意見を公表して曰く現時歐洲に於ては名優に乏しきのみならず狂言脚本も近來の著作の概ね見るに足らざるは要するに公衆の意匠退却したるが爲めなるべし脚本の善惡巧拙は作者の才力に依ること論を俟たざれども其才力を挙ゐて面白き脚本を世に顯はれしむる所の違因は之を時の公衆の意匠に歸せざる可らず即ち公衆の意匠として進まざれば出る所の脚本に見る可きものなきは明白の事實にして而して脚本拙ければ俳優の技藝は退歩して名優その跡を絶ひるや疑ある可らず歐洲に於て演劇の盛なりしはコルネーユ グーテ、レーシネ、モールの諸大家が專ら脚本を編みたる時代にして此等の名家は相繋で東西に輩出し其院本の新案趣向は前後を顧て隨て俳優は面白き狂言を演ずるを得たりしなれども今日に至りては斯る脚本家なきのみならず其傑作を高閣の上に束ねて殆んど顧みざるは公衆の意匠前日の如くならざる證據にして俳優の技藝も亦これより進歩を見ず左れば公衆の意匠として凡庸なる脚本を擯斥するにとゞまるに於てはコルネーユ、グーテ再生して梨園に名優の現はるゝや疑なけれども今日に在りては其原因の之を許さゞる者あるが故に斯る衰退を來したるに外あらずと以上ベルンハルド女史の議論は特に公衆の意匠を責むるに急にして極端に馳せたる嫌なきに非ずと雖も劇道の衰退は役者の罪ならずして其時の人情世態と作者の關係これに與りて力ありと爲すの點は我輩の異議なき所なり歐洲劇道の盛衰は兎に角に近來吾國に於ては演劇改良の論盛に起て或は俳優に人なきを咎め或は狂言の不完全なるを罵り甚しきに至りてはチョボも廢す可し花道も壊す可しとて全く日本在來の芝居の筋を變じて西洋風に爲さんとするの極端論も一時は世に出でたりしが幸に昨今は其極端論者も少しく勢を失ふて温和なる改良黨の存するのみなれども其言ふ所は尚は我輩に於て服する能はず即ち彼等は古人の作は悉く陳腐荒誕にして見るに足らず已れ自ら脚本を編み其模範を示すに非ざれば演劇の改良は頗む可らずと爲すものゝ如くなれども扨ろの實際を窺へば筋書は只管小說流に書流し饒向の妙と文字の奇とを飾るのみにして舞臺と俳優とを考へず又世人の意匠嗜好に投ずるや否を問ふものは至て稀なりと云ふ元來著作家が脚本を著はすには二樣の考ある可きみとして一は小說一は臺帳として之を編むに於ては大に相違なかる可らず小說に在りては望む所の正人惡漢は筆尖隨意に之れを作りて巧案を逸らすに容易なれども臺帳として實地に用ふべき脚本を作るの場合は然るを得ず作の思案を凝らすに先ざち豫め俳優の有無と役の適否とを考へ始めに既に窮屈なる模型の中に其案を遮られて然して後ち狂言を組ひ者ある れば小說流に書流したる筋書の實際に當嵌まらざるや論を俟たざる例へば眞成の臺帳を作らんとして筋書を編むに於ては眞十郎菊五郎は今の日本に各一人の俳優なりとして總角を立つ可き所なるに小說流の筋書に在りては三人共に自由に縦横に駆馳りて名優腕揮ひの立廻りを演ずしむるは如案至極なりと雖も實地の舞臺に三五の團菊あきを如何せん是に於てか罪を梨園の無人に歸して其衰退を嘆するが如き我輩の最も心服せざる所なり又改良論者は改良に熱するあまり甚しくして全く自家の想案を書下し却て其趣向の世情に適するや否やを問ふの念は左まで深切ならざるが故に新案家の脚本にして實地の舞臺に名聲を博したるものは甚だ稀なり若しも其新案家が身を看客の地位に置き虛心平氣にして斯る脚本を評したらば其實際に行はれ難き事情を酌みとならんなれども今その然らずして机上の小說を直に舞臺に施さんとするに當り演劇者の之を拒むあれば之を彼等の無學無識と云ふ人を責むるみと刻なるが如し抑も演劇に對する日本人の意匠即ち日本人の芝居見る目は今と昔と比較して進退如何ん是れは他日の論として兎に角に從來の狂言作者は今の世態を知らず又新規の改良黨は劇道の實際に通ぜずして孰れも世情に投するの機敏に乏しきは事實に於て爭ふ可らず故に我輩は脚本の著作を以て自ら任する新舊の士人に向ひ敢て其巧拙を評するには非ざれども唯その己れを虛うして世情の進退を觀察し公衆の好む所に投して徐々に高尚に達せんことを勸告するのみ

雜報

○モッセー氏 同氏增給の次第は前號の紙上に記せしが今度更らに十箇月間傭ひ繼ぎとなる由にて獨逸政府へ其筋より掛合中との事なるが元來同氏は本國に於て裁判官の職に在るを以て期限の切れ次第歸國する筈なりしも仕掛りの取調あり今十箇月も滯在せば略ぼ成就する見込なるに付傭ひ繼ぎの場合とはなりしなればなる べしと云へり

○銅價の下落 先年來佛國にて世界の銅買占に從事し居る銅商組合は近頃銅價の下落を來したるが爲め株券の下落して今や彌々危殆の勢を呈し又と關係ある銀行すら或は爲めに倒産に陷らんとする有樣ありおと種々の電報が續々到來したるに就ては横濱の商館は挙つて製銅の買入を中止して銅の取引は殆んど絶無の姿となり成行きたり就ては此頃迄大景氣ありし製銅は彌々下落を來して其發行は何時か一度大荒をも起すならんと銅山持主等は昨今一日も安堵の思ひあるなく孰れも頗る愁眉を催ほし居るが之が爲め人氣益々沈靜し內國の銅商は孰れも買控へ銅工場も其成行を窺ひ居る次第なれば一切大取引なしと云ふも可おらん目下百斤ふ付二十圓位なれども無論買手おく或は結局十三四圓迄引落すが如き勢あるも知るべからずと云ふ者もある由なり

○大坂の改進黨員 同黨現今の有樣は此程の本紙大坂政況の項中に記載せしが尚は近報に據れば先頃關西地方遊說員として出發したる同黨員角田眞平、青木匡、山谷虎三の三氏は先きに神戸に着して同地にて演說會を催ほし今や中國地方の黨員募集黨勢擴張に奔走中なるが來る二十五日には大坂に來り更らに東京より丸山名政氏外數名も會集する都合なるを以て在坂の同黨員は書を近府縣の黨員に飛ばし關西地方立憲改進黨の大懇親會を開らき引續きて演說會をも催はし大に黨勢を振張する積りなりと云ふ

○名古屋電燈會社 愛知縣下名古屋にては一昨二十年以來同地に電氣燈會社を設立するの計畫あり當時該發起者よりの委托に依り工學士丹羽正道及び丹羽精五郎の二氏は同事業取調べ及び器械買入れ等の爲めに親しく歐米諸州に赴き乃ち電機器は米國にて調製せしむるとゝあり又歸朝以來も尚は引續き其諸般の事務に奔走盡力して今回彌々其本社の位地を名古屋南長嶋町に卜し煉瓦石造の家宅一百坪餘の建築を成すみとゝあり此程より工事に着手したるが同建築は向ふ五六箇月間に落成せしめ則ち本年八九月の頃より開業の豫定にて先づ最初は白熱電燈一千五百個(一個十燭光力)及び弧光電燈十個乃至二十個(一個千五百乃至二千燭光力のもの)を備へて一般の需要に應ずるみとゝし尚は事業の進歩に伴ひて漸次擴張の計畫あるが元來該社は其資金總額を金二十萬圓とおし之を一株百圓都合二千株に分ち其內七萬五千圓丈は豫て政府より貸し下げたる同縣士族の授產金を以て之に充て先づ右七萬五千圓の資本金を以て開業し追て殘額十二萬五千圓は汎く一般の有志家より募集する筈にて近日該授產金の所有主たる士族六千餘名の公撰を以て同士族中より三浦惠民氏を擧げて之を社長の任を托する筈なりといふ

○山陽鐵道會社の定式總會 は來る四月廿七日を期し同社に於て開會するる付き四月一日より總會の翌日まで株式の賣買譲受渡の登記を停止するよしにて今度は多少利益の配當あるべしといふ

○營業的の設計 東京は電話交換局を設置せんとて先頃逓信省は委細其調査を爲し前樞密大臣の手を經て內閣に提出したるみとは像て本紙上に記したるが同省にては目下官省とも經費節減の折柄あれば迚ても之が爲め同省の定額金を增加するみと覺束なしとて今度は故らに營業的の設計をおしたれば多分民設の許可あるべしと云へり

○町村分離騒 長野縣上田の國村おる常入村は人口千五百餘ありて昨二十一年中同縣の書記官が町村分合に付實地巡視の際獨立村制を布く事に決定せし處突然去る二月に至り上田と合併の模樣とおりしに依り全村の人民は大に驚き林登金太、中澤松太郎の二氏を總代として爲し右の合併は本村に取り甚だ不利益に付自治村に致したしとの陳情書を此程上京して內務大臣へ呈出したりと

○日本經濟會 みては來る廿八日鹿鳴館に於て月次會を開く都合にて會員外の諸氏へ招狀を發したる人々は伊藤彌二郎、南部甕男、井上馨、鳩山和夫、渡尾新、昌田鋭之助、外山正一、德富猪一郎、千頭清臣、沼間守一、小村壽太郎、小野光景、岡本貞烈、岡村輝彦、渡邊國武、和田維四郎、渡邊洪基、河上謹一、高橋健三、田尻稻次郎、谷謹一郎、谷口直貞、高嶺秀夫、田口卯吉、高嶋嘉右衛門、高木三郎、中村彌六、陸實、內田耕作、栗塚省吾、山田喜之助、矢野次郎、矢田部良吉、眞中忠直、益田克徳、前嶋密、松野貞一郎、牧野伸顯、福富孝季、小松原英太郎、朝吹英二、淺田徳則、阿部興人、阿部泰藏、齋藤修一郎、銀林綱男、菊池大麓、北島治房、菊池武夫、岩崎小二郎、岩谷立太郎、三橋信方、松本莊一郎、志田林三郎、平賀義美、關直彦、杉浦重剛、末松謙澄、樫村清徳の諸氏ありと

○長崎縣五嶋の近信 五嶋は長崎より西の方六十五里の海上に位する孤嶋なれば本陸との交通稀おると共に此地では政治上の思想も乏しかりしに憲法發布に付て幸に一郡一區の撰擧實施を有するみとゝなりし爲め此頃より至りて議員候補者の競爭甚だしく亦往時の五嶋にあらず而して目下候補者として指名さるゝは保守を主義とする松國忠貫、財產家の松國荷藏、大日本水產會社員の平田貞雄、會計檢査官大坪利喜等の諸氏にして尚は此外にも候補者たらんと欲するものゝある由なれども有力者の內多くは大坪氏を評驚せしめて指名するの意は獨逸にて、蒸汽器は米國にて調製せしむるとゝあり百廿に關し歸朝以來も尚は引續き其諸般の事務に奔走盡力して左すに

○京都電燈會社 ●十一時○午後十二時十五分、七時四十分、●八時卅五分(急行)、九時四十五分●十一時○午後十二時十五分●一時三十分、二時卅十五分●四時(急行)五時●九時十五分、七時卅五分、八時十五分、十時、十一時十五分急行○横濱發(上)●○午後六時五十分、七時五十分、八時四十五分、九時四十五分、十一時○午後十二時十五分、一時卅五分、二時四十五分、四時五分急行、五時、

○盛岡電燈 ●十一時○午後十二時十五分、●八時卅五分(急行)、九時四十五分●十一時○午後十二時十五分、一時卅五分、二時四十五分、四時五分急行、五時、

○上州鐵道 ●十一時○午後十二時十五分、●八時卅五分(急行)、九時四十五分●十一時○午後十二時十五分、一時卅五分、二時四十五分、四時五分急行、五時、

○横濱港郵便汽船發着

到着地	出發船名	出發日	來着船名	來着日
横濱	横濱港郵便汽船會社	三月廿四日	横濱港郵便汽船會社	三月廿五日
神戸		四月三日		四月三日
横濱		四月廿八日		四月廿八日
横濱		三月三十日		三月三十日